

平成30年2月5日

公益社団法人全国自治体病院協議会北海道支部

北海道自治体病院協議会

支部長・会長 木村 純 様

一般社団法人北海道薬剤師会 業務執行理事

会長 竹内 伸 仁

副会長 有澤 賢 一

副会長 三國 亨

副会長 松本 健 春

副会長 清水 大

副会長 宮本 篤



敷地内薬局の誘致に対する本会の見解

平素より、本会事業の円滑な運営にご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨今の規制緩和の流れを受けて、病院敷地内に薬局を誘致する動きが道内においても散見されております。

厚労省が平成27年に策定した患者のための薬局ビジョンでは、服薬の一元的・継続的な把握や、それに基づく薬学的管理・指導などを、かかりつけ薬局・薬剤師が持つべき機能だと定義しており、“門前からかかりつけ、そして地域へ”というキャッチフレーズとともに面分業の推進が打ち出されております。

本会ではこれらの方針に沿い、地域への展開を目指すのが医薬分業の本質と捉え、かかりつけ薬剤師・薬局の推進や健康サポート機能の強化に取り組んでおりますが、道内でその趣旨に反した敷地内薬局の誘致が見受けられることは誠に遺憾であると言わざるをえません。

敷地内薬局の大きな問題点として、“医療機関と薬局が大家と店子”という関係性が必然的に生じ、薬局は医療機関から独立することの大前提に大きな疑問符が生じることであります。

このような背景から、本会としては敷地内薬局を到底容認できるものではなく、断固反対するものであります。

地域住民の薬物療法における安全・安心を確保し、地域に根ざした薬局を目指し、患者への服薬管理・指導など薬局のかかりつけ機能を強化・推進し、地域包括ケアシステムに参画するという観点から、本文書の趣旨をご理解頂きますようお願い申し上げます。

「患者のための薬局ビジョン」

～「門前」から「かかりつけ」、そして「地域」へ～

健康サポート機能

健康サポート
薬局

- ☆ 国民の病気の予防や健康サポートに貢献
 - ・要指導医薬品等を適切に選択できるような供給機能や助言の体制
 - ・健康相談受付、受診勧奨・関係機関紹介等



かかりつけ薬剤師・薬局

高度薬学管理機能

- ☆ 高度な薬学的管理ニーズへの対応
 - ・専門機関と連携し抗がん剤の副作用対応や抗HIV薬の選択などを支援等



服薬情報の一元的・継続的把握

- ☆ 副作用や効果の継続的な確認
- ☆ 多剤・重複投薬や相互作用の防止
- ICT(電子版お薬手帳等)を活用し、
 - ・患者がかかる全ての医療機関の処方情報を把握
 - ・一般用医薬品等を含めた服薬情報を一元的・継続的に把握し、薬学的管理・指導

24時間対応・在宅対応

- ☆ 夜間・休日、在宅医療への対応
 - ・24時間の対応
 - ・在宅患者への薬学的管理・服薬指導
- ※ 地域の薬局・地区薬剤師会との連携のほか、へき地等では、相談受付等に当たり地域包括支援センター等との連携も可能

医療機関等との連携

☆ 疑義照会・
処方提案

☆ 副作用・服薬状況
のフィードバック

・医療情報連携ネット
ワークでの情報共有

☆ 医薬品等に関する相談
や健康相談への対応
☆ 医療機関への受診勧奨